

平成30年度(第30回)ポンペ賞受賞者



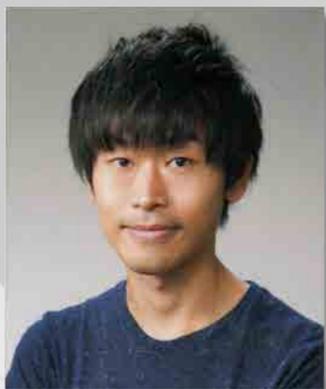
長崎大学医学部では、創設者であるポンペ・ファン・メデルフォールトに記念して新卒業生を対象に、ポンペ賞が設けられています。表彰状とともにブロンズのレリーフをはめ込んだ立派な楯が毎年少なくとも3名の受賞者に卒業式の時に寄贈されます。

成績優秀者(学業成績 上位3位)

体育系課外活動貢献者



大野田 貴



露木 智久



田口 裕香



本多 弘幸



編集長
大熊 怜 (学友会 広報部)
編集部
長崎大学医学部ぐびろが丘編集部
長崎医学同窓会
〒852-8523 長崎市坂本1丁目12番4号
☎095-848-5484
E-mail: ryojun_do@ml.nagasaki-u.ac.jp
印刷
株式会社インテックス

学生の声 in 目安箱

以前あった学生を集めたコーナーを復活させました!

◎部活の勧誘について

- N: 今年は部活の勧誘に来る一年生の分布がおかしいって聞いたけど、毎年人気の部活のUちゃんはどうか?
- U: 生協パーティで20人弱くらい来ましたね
- O: めっちゃ来てるじゃん。分布がおかしいというか、今年の一年生は勧誘に積極的に参加してくれる人が多いのかもね~
- N: 確かに。下の学年は、カリキュラムが変わってきてるけど部活のテスト休みはどうなってる?
- K: うちの部活は1.2年生には別の日程でテスト期間設けてるらしいですよ
- U: 私のところは特に何もしてないですね~
- O: カリキュラムの移行についていけるかどうかこれからカギになるかもだね
- U: 1年生はテスト休みとかもしっかり確認するようにね!
- K: もうこれが発行しているときには遅いかもしれないですけど...

◎テスト勉強について

- Yu: 友達と図書館で勉強することが多いです
- U: 勉強教えてもらえるし、情報も得られるし一石二鳥
- M: 大学受験よりも、大学の試験の方が団体戦ですからね
- Yu: 先輩に勉強のコツを教えてもらうのも大切です
- M: 僕は語呂合わせに命かけてます(笑)
- U: 語呂合わせ作る天才が学年に一人は絶対いる説
- M: 暗記しなきゃいけないものが多いですからね、語呂合わせ無しで行けるやつどうなってんのって感じ
- U: 自分なり勉強方法をさぐっていきましょう~

◎一人暮らしについて

- O: まず親のすばらしさを痛感する
- K: 確かに。洗濯物だしたら自分で洗って干して畳まなきゃだし...
- N: 俺はさみしさに耐えられなくて、いつもテレビつけてる
- O: 自分以外の物音があるとちょっとホッとするよね
- Yu: 大変な分、自由もありますけどね
- N: いつ寝ても起きて誰も怒られないしな~
- K: あと、自分の好きなものを好きな時に好きなだけくれる!!
- O: Kくんは食べるの好きだもんね~
- Yu: テスト期間は部屋が汚くなりがちなのが課題です(;ω;)
- N: 日ごろから片づける癖つけようね!!

「セミナーに参加してみようっ!!」

テーマ: 急性腹症を通じて医師の能力を探ろう
~ Acute abdomen and Conference ~
講師: ハワイ大学外科教授 町淳二先生



こんにちは! 熊谷です。ついに実習もクリクラに突入して間もない1月にとっても興味深いセミナーがあることを聞きつけたので、私も参加してきました! 講師の町淳二先生は一人ひとりの学生の意見や回答を大切に汲み取ってくださる方で、学生の知識に更なる肉付けと新しい視点を提示していただきました。今回は、このセミナーを企画してくれた山口恵利帆さんにどういった経緯で今回のセミナーに至ったのか等々を教えていただきました。

去る1月22日(火)に、ハワイ大学外科教授 町淳二先生をお招きして Problem Based Conference: PBC のセミナーを開催いたしました。セミナー開催のきっかけは、私が昨年夏に日米医学医療交流財団の助成を受けて Hawaii Tokai International College 主催の医学部夏季集中医学英語研修に参加したことです。この研修は日本の医学部5・6年生を対象にハワイで行われるのですが、英語での問診・プレゼンテーションの実践を行い PBC の考え方を中心に学びました。大変感銘を受け長崎大学の皆さんにも是非一緒に体験してもらいたいと思いました。

今回は「急性腹症を通じて医師の能力を探ろう Acute abdomen and Competencies」がテーマでした。腹痛を主訴とする症例のシナリオが2つ準備され、学生が質問をして町先生がそれに答える、あるいは町先生の方から質問をする、という形式で進めました。シナリオは、実際の診療と同じように、主訴にはじまり、病歴、身体所見、鑑別診断を考え、検査を出し、診断をし、治療を考えるという流れで進みます。最初は、年齢と性別、主訴以外に全く情報のない状態から出発し、学生が質問を重ねることで次第に情報を得ていきます。また、これらのシナリオを通じ、効果的な鑑別診断のあげ方、頻度と緊急性を念頭に置いて鑑別診断を考えること、何の目的で各々の検査を出しているのか考えること、などを学びました。疾患のヨコ切り、つまり診断学的な面からシナリオを経験することで、臨床実習中の4,5年生にとってはその体験を補強するものに、臨床実習前の1~3年生にとっては実際の診療を疑似体験するよい機会



になったと思います。ちなみに米国では、共通の臨床研修の到達目標として以下の6項目があり、どの施設でも常に意識して研修が行われているそうです。Patient care, Medical knowledge, Practice-based learning and improvement, Interpersonal and communication skills, Professionalism, System-based practice (患者診療・治療手技、医学知識、臨床現場での学習と改善、対人能力とコミュニケーション能力、プロフェッショナリズム、医療システムに基盤を置いた臨床活動) これらは私たち日本の医学生からみても、学ぶことが多いようです。

セミナーでは熱心なディスカッションがあり時間を延長し、また懇親会では医師に必要な能力や日米の医療の相違についてなど、夜が更けるのも忘れて盛り上がりました。

最後になりましたが、遠方よりお越しくださりました町先生、本セミナー開催にご尽力くださいました柳原先生に深く感謝申し上げます。また、運営の学友会の皆さんありがとうございました。

リサーチセミナー アンジェ大学での夢のような2ヶ月間の日々を 振り返って

4年 森 葉月

今回は2ヶ月間、友人とフランスのアンジェ大学と解剖病理学教室に配属されました。お世話になった研究室では主にフランス語で会話が行われ



Château de Chenonceau 週末に行きました!

生方やアンジェ大学の医学部生などは英語で話していただきだったので良かったです。また、研究は少し大変でしたがとても楽しいリサーチになりました。フランスでの生活は、日本と宗教が違うこともあり、異文化に直接触れられると良い経験になりました。まず共働きの多いフランスでは、冷凍食品の種類が多く、電子レンジなどで簡単に作れるような食事が日本より多く売られているような気がしました。そしてヨーロッパの物価は高いといわれていますが、本当は高いです。しかし、それは外食をする場合の話であり、お野菜

やお肉は日本と同じくらいもしくは少し安いぐらいでしたので自炊をして生活しました。夜は現地の医学生やアンジェにきている留学生たちと飲む機会がたまにあり、とても充実した2ヶ月間でした。ちなみにフランス人は夜の九時に夕食を食べる方が多いそうで、九時ごろからごはん屋さん

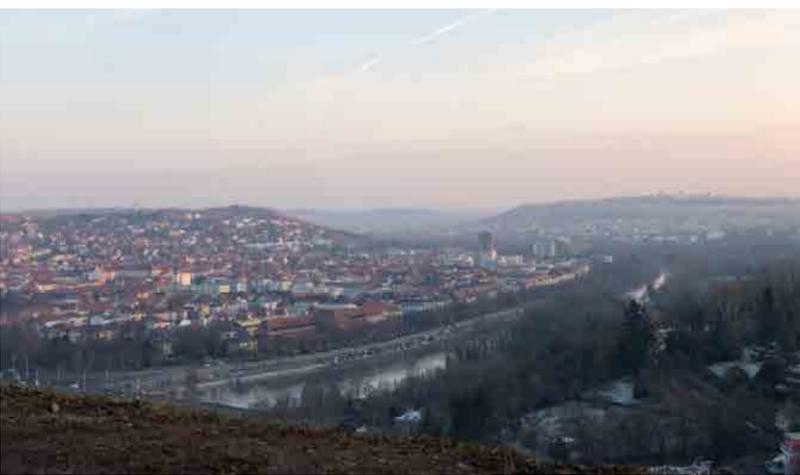
が混みます。フランス語を習ったことが無いのに、何故かという理由で、フランス語を選んだことはいまさら、あえて言語も文化も知らない土地に一人で行ってみたいことになって一回り成長できるかなと思っただけです。人生で初めての留学では、想像より学びが多かったのに行って良かったと思えました。今回留学に行かせてくれた両親、学校、周りの環境にとっても感謝しています。卒業後も海外留学をしたくなりました。

リサーチセミナー ヴュルツブルグ大学での リサーチセミナーを終えて

4年 久賀 智尋

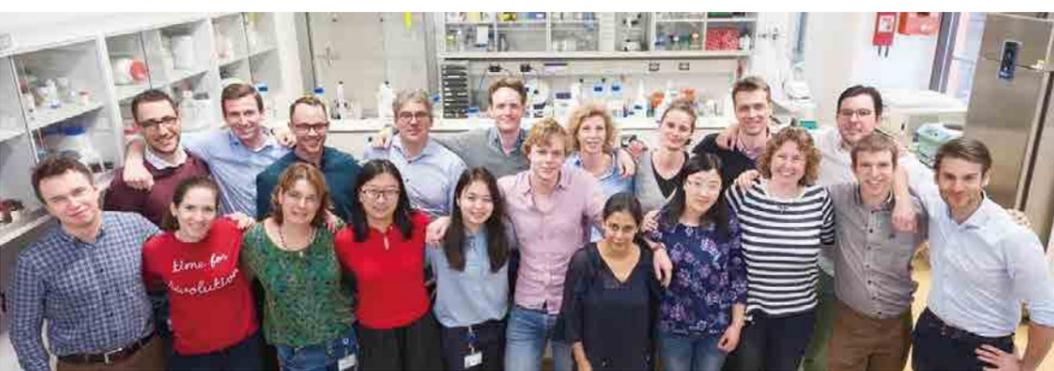
ヴュルツブルグは、シーボルトやレントゲンの所縁の地として知られていますが、ロマンチック街道の起点でもあり、歴史が色濃く残る美しい街です。私は今回、Anatomy and Cell Biology of Stem Cell and Regenerative Medicine Group において研究をさせていただきました。再生医療、特にiPS細胞に興味があり、今回実際に自分でiPS細胞から心筋に分化させ、ウェルの中でビーツイン

グしているのを見つけた時は本当に感動しました。ラボ内での発表にも2回参加させていただき、緊張や不安はあったものの、一方的に発表する場ではなく、教授をはじめ、ラボメンバーからの質問で自分でも気付いていなかったことに気付いたり、意見を聞ける大変貴重な機会でした。ラボのメンバーは、世界中から集まっており、ドイツですが共通言語は英語で、3ヶ国語は話せて当たり前というメン



マリエンベルグ要塞からみたヴュルツブルグの街並み。メイン川が流れ、周りは葡萄畑に囲まれている。

バで、とても刺激を受けました。週末には、それぞれの国の料理を作ったり、ホームパーティーをしたり、平日もみんなでコーヒープレイクを楽しんだり、とても仲が良く家族のように温かく迎えてくれました。ヴュルツブルグ大学の学生など同年代の友達もでき、ドイツの生活に慣れた大変濃い2ヶ月を過ごすことができました。今度は是非、ドイツ語を喋れるようになって訪れたいです。



寮生との写真



寮生との写真

リサーチセミナー 走り抜けた3ヶ月のライデン

4年 狩野 真由子

このリサーチ期間は、忘れられない期間でした。研究においても、それ以外においても、全てが新鮮で興味深く、本当に貴重な経験をすることができました。「3ヶ月で何が出来るのだろうか。」不安と期待が入り混じった初日を迎えました。そして、初日に3つの目標を立てました。1つ目は、3ヶ月間で研究において結果を残すこと、2つ目は、躊躇わずに質問すること、3つ目は、オランダを探求することです。まずは研究に関して。私の研究テーマは、「細胞外マトリックス」でした。研究室にとってこのテーマを扱うのは初めてで、手探り状態でした。問題にぶつかっては論文を読み漁り、実験の計画を立てて、議論をするの繰り返しです。実験の結果を考えると、毎日寝れない日もありましたが、毎日とても充実していました。短い期間だからこそ、今日できる最大限のことをしようと思いがけました。最終的には、心臓からの細胞外マトリックスの分離、組成の分析、既存のセルラインへの応用全てが上手く行き、無事に1つ目の目標を達成しました。このように、幸運にも良い結果を出すことができました。環境に恵まれていたからだと思います。研究室は、医師だけではなく、生物学者、物理学者、技術員など様々な専門分野の人で構成されています。国籍も多様性に富んでいて、ベルギー、ロシ

ア、ハンガリー、イタリアがあるように感じました。そして、忘れてはならないのが美しい街並みです。風車と運河は街の中心にあり、天気の良い日に外に出てるとうっとりするような美しさです。週末は積極的に現地の人や研究室の仲間と各都市に足を運びました。あつという間の3ヶ月でしたが毎日がとても充実していました。長崎大学でこのような貴重な経験をさせて頂いたことに感謝しています。

私はイタリアにあるトレント大学で3ヶ月間過ごし、とても貴重な経験をすることができました。研究を通して成長できたとはいえませんが、何より3ヶ月の間、海外で過ごすという経験は普通では出ないことです。言葉も違えば文化も違うため、最初は戸惑うところもありました。しかし、次第に慣れていき、非常に楽しい生活を送ることができました。研究室の方々はとてもフレンドリーで、寮の人達も想像以上に良い人でした。様々な国の人が自国の話を聞かせてくれたり、郷土料理

リサーチセミナー トレント大学での 3ヶ月間を終えて

4年 中野 倫太郎

を作ってくれたりしました。また、皆で卓球やサッカーのボードゲームで遊んだり、映画観賞やカードゲームをしたり等、めちゃくちゃ楽しかったです！ヨーロッパは観光地も多く、休みの日にいろいろな場所に行けます。日本から行くよりも非常に近く、気軽に安く行けるのでかなりお勧めです！長々と述べてきましたが、とても刺激的で様々なことを学べたりリサーチセミナーでした。皆さんにとっても良い経験になると思うので是非参加してみてください。

韓国での2ヶ月間inハリリム大学

4年 山内 翠



私はリサーチセミナーの期間を韓国のハリリム大学で履修させていただきました。当初は、研究という分野で初心者ですが、結果を出せるか不安を覚えていました。しかしキム先生をはじめお世話になった研究室の方々とも親切で、いつ何を聞いても教えてくださり、ときには何十分も難題と一緒に考えてくださりました。それは研究室の外でも変わらず、食事や観光を共にしていた際も興味深いお話をたくさん聞かせていただきました。そして英語での生活の中で得たものもあります。日本語で会話をしていると濁ってしまう専門用語や表現も、私はネイティブスピーカーでないためはっきりと話さなければ

伝わらず、おかげで自分の考えを伝えるときに確かな言葉を使う習慣が身につきました。また、「海外で長期間暮らす」というのは私の中でハードルの高いもので、実際に渡航前から帰国後にかけて多くの壁にぶち当たりました。ただそれを自力で乗り越えた経験を得たことで、これま

での甘えた自分を見つめなおし、より成長しなければならぬと自覚することに繋がりました。もし海外リサーチセミナーに抵抗を感じている方がいるならば、リスクを考えるより先にぜひ飛び込んでみてください。きっと糧になる2ヶ月を過ごせると思います。



研究室のみなさんとビール&チキン会

ベラルーシ共和国でのリサーチ活動

4年 金堂 円太郎

リサーチセミナー

初めまして、医学科四年生の金堂です。私のような平凡な学生がこのような記事を書かせて頂くは大変恐縮ですが興味のある方は是非読んでみてください。

では、実際に現地での様な活動をしていたのかお話しします。滞在期間は一カ月で首都ミンスクに二週間、こちらは主に医療研修が多く実際の手術現場を見たり、手術の助手をしたり、診療や医療設備等を見学させてもらえます。そして、もう二週間はゴメリというチェルノブイリ原発事故後の被害が最も大きかった地域で放射能の測定や被爆二世に対してのアンケート調査等といったリサーチ研究が主にな

ります。基本、大学の寮に住むので生活面は問題ありませんし、現地の学生が観光や食事に連れて行ってくれるので非常に楽しく魅力のある海外リサーチ生活を送ることが出来ますよ!!

大変短い記事で申し訳ありませんが、ベラルーシの良さはこの文面に書ききれませんでしたので興味のある方は僕の大学のメールアドレスに質問してください。



お世話になった先生、学生との一枚

リサーチセミナー報告 ~ 研究に憑りつかれた2ヶ月間 ~

今回は、我々新聞部が、3年生(新4年生)の川上真弘さんにリサーチセミナーのお話を伺いました。

- 金 好: どの研究室に所属していますか?
- 川 上: 熱帯医学研究所の新興感染症学分野です。
- 金 好: 具体的にどんな研究を行っていますか?
- 川 上: 現在のテーマは、SFTSウイルス(重症熱性血小板減少症候群ウイルス)の各動物細胞での自然免疫抑制メカニズムの解析です。それぞれの動物で病原性に違いがあるみたいで、その違いをマウスやネコなどの動物細胞を使い、ウイルス自身が持っているウイルス蛋白による自然免疫抑制を解析しようという内容です。
- 金 好: 本研究の目的を教えてください。
- 川 上: SFTS Vは人獣共通感染症にも関わらず、人以外の自然免疫抑制メカニズムが、分かっていない点が多いからです。
- 金 好: 研究を進めていく上で、一番しんどかったことは何ですか?
- 川 上: うーん、やっぱり・・・、最初はスムーズに進むと思っていたけれど、実際に実験を進めてみると、それぞれの動物細胞で性質も異なり、思い描

- 金 好: どうやって乗り越えましたか?
- 川 上: できることは決まっているので、まずは、できることを確実にこなすこと。また、先生と「こうじゃないか?」って議論を重ね、いろいろな実験条件を検討しました。その結果、完全に望んでいた形ではないものの、考察できるレベルの結果を出すことができました。
- 金 好: では、逆に、嬉しかったことはありますか?
- 川 上: 嬉しかったことはまだ... (笑) 自分自身が想像していたものとは違っていたので。ただ、出た結果に対して、どうしてそうなったのか?などと考えることは、次のモチベーションにつながっています。それに、先生もとても丁寧に教えてくれるので、感謝しています。
- 金 好: 今後も研究を続けたいですか?
- 川 上: 授業やCBTなどもあり忙しくなるけど、続けたいなって思います。
- 金 好: 将来的には、やはり研究医ですか?
- 川 上: それはなあ... (笑) この研究を進めていくことで初めて、実験の全行程を行う経験ができるので、それが終わったときにどう感じるかでしょうか。卒業までに、論文を出したいと思うけど・・・。先生に教えてもらっている以上、まずは、論文出せるような結果を出さなきゃと思っています。でも出したいな。
- 金 好: 是非、期待しています。本日はありがとうございました。

生協パーティー



剣道部の人間ピラミッド!

桜が満開に近づく頃、2019年4月に今年も生協パーティーが開催されました。新入生の皆様はオリエンテーションや入学式と続き、大変だったかと思いますが、まずは先端医学支援センターの安武教授より新入生に向けてお言葉をいただきました。勉強、部活、バイトなど学生生活についてお言葉をいただきました。ここからが本番です。在校生の部活動紹介がスタートしました。今年度は30団体以上の部活が参加されていました。各部活趣向を凝らした発表で、新入生の目を惹きつけていました。まだ知り合っていない同級生を気遣いながら見えやすいようにしている新入生の姿が印象的でした。これから6年間と長く続く学生生活をより充実させていくためにも早く友人の絆を深めていってほしいです。高校生の時とは違い、環境も一人暮らしの人が多いかと思えます。今までは全く異なる環境で、自由な時間が増えると思います。興味を持ったこと、やってみることに積極的にチャレンジし、充実した学生生活を過ごしてくださいね!



先端医学支援センター安武教授のご挨拶

学友会便り

長崎大学医学部学友会広報部

医学展 11/23・24開催決定

時の流れはあっという間・・・あの大物ゲストをお呼びした前回の医学展から早二年。今年の医学展には果たしてどんなドラマが待ち受けているのか!!これを読んでいるあなたがその中心かもしれない。そのためにも我が坂本キャンパスには是非足をお運びください!現在通っている学生はもうそろそろ、将来受験を考えている中高生、学生気分にもどりたい先輩方、私たちがいつも見守って下さる保護者の方や近隣住民の方々も大歓迎!ゲストを招いた講演会、長医の最も素晴らしい女性を決めるミスコン、受験生必見の学生企画など様々なイベントを準備して皆さんをお待ちしています。詳細に関しては、次号に乞うご期待!大切なことだからもう一度!11/23・24は坂本キャンパスへ!!

2018年度卒業式

3月25日、記念講堂にて医学部卒業式が行われました。あいにくの雨の中ではありますが、色とりどりの着物や袴、スーツ姿の6年生の先輩方が集まっていたりしゃる様子は、とても晴れやかで、いつもにまして素敵な光景でした。

また、式の後には花冷えを吹き飛ばすかのような各部活の在校生よりのお祝いやお見送りのメッセージが聞こえ、胴上げなども行われました。

新聞部からも三人の先輩方がご卒業されました。沢山お世話になった先輩方が旅立たれるのは本当に寂しいですが、先輩方にご心配をかけないよう頑張っていきたいと思ひます。

長崎に残られる方、県外にいかれる方、海外で研修される方などさまざまですが、先輩方のご活躍をお祈りしています！

ご卒業おめでとございます！



新入生歓迎会

医学部2年 西山 樹

平成も終わる3月31日、今年の長崎の桜はまだ満開ではなかったが、気持ちのいい春の風の吹く中、医学部新2年生による新入生歓迎会が行われた。午前中はドッジボール大会、午後は医学部2年総代の西山樹さんを中心に学校、授業等々の説明会がジョーク交じりになされた。今回の新歓は例年になく大盛況で、午前のドッジボール大会には約100名、午後の説明会からの参加者は約10名、総勢約110名の新入生が参加してくれた。そして、このイベントは今年で節目となる5回目。現6年の総代が始めたもので、新2年総代、総代新歓担当の安武先生、学務の方々、生協の村上店長、その他様々な方の協力の下、存続できており、今後も続いてほしいイベントの一つである。

午前中のドッジボール大会では例年通り6チームに分かれての対抗戦。チームによって男女比等もあって格差はあったが、今年はEチームが優勝。すぐにグループラインを作って仲良くなっている様はかつての自分を見ているようで少しむず痒かったが、新入生の初々しさはいつ見てもいいものだ。また、総代が景品を買い忘れたこともあって、総代自ら優勝チームをご飯に連れて行くこと豪語している姿には漢気を感じた(後日2年生何人かで実際にEチームをご飯に連れて行ったらしい)。また、今年はサークル勧誘を絡めてよい新歓だったため、勢いの強い水泳部を筆頭に会場に乱入してくるサークルも多々あり、エネルギッシュな新歓であった。

午後は2年総代の西山樹さんを中心に話される学校説明、授業説明、新歓情報、その他余計なお話である。だが人生というのはどの場面でも無駄だと思えるようなことが意外と大事だったりするもので、余計な話から重要なことを取り出せるかどうかカギとなっているのかもしれない。説明会では十分笑いを取れたらしく、シンガポール帰りの存在しないジェットラグに悩む総代の西山さんはご満悦の様子であった。

例年この日、これから共に医学を学ぶ貴重な友人を得られたり、はたまた将来の伴侶に出逢ったりするドラマチックな日である一方、1年多く大学で過ごした先輩の口から出てくる「ずる賢い」处世術も、この日得られる素晴らしいもの一つではないだろうか。

新入生の皆さん、ようこそ長崎大学医学部へ。先輩一同、君たちがここ長崎大学で素敵な時間を送れるよう祈るばかりです。May the Pompe be with you...

★ぐびろがおか新聞部員を募集★

こんにちは!学友会広報部です!私たちは長大生の皆さんに年に3回、新聞をお届けしています。新入生歓迎会に始まり、西医体、九山、海外フリクラ、海外リサーチ、その他長大生の活躍や生協からの連絡までみんなが気になるあの情報を皆さんにお届けしています!もちろん、あなたが書いてみたい記事を書けるのも自由です!

ほとんどの部員が部活や学友会を掛け持ちし、担当記事を毎回楽しく作っています!

大学生活の1ページに広報部を考えてみませんか?部員100%が兼部しています◎

ご興味がある方は広報部部員までお声がけください!ご連絡お待ちしております(*^^*)



パannaコッタ

今回は一人でも簡単に作れてしまうパannaコッタを紹介します!暑くなってきましたね...西医体に向けて練習中のあなた、試験勉強に追われているあなたもキンキンに冷やしたパannaコッタを食べれば暑さに負けず頑張らしましょう!!

〇材料

牛乳 (250ml)、生クリーム (250ml)、砂糖 40g、ゼラチン 8g、水 (ゼラチン用) 大さじ3、いちご、(ミント)

〇作り方

- ①ゼラチンと水を混ぜ、15分程度ふやかす
- ②鍋に牛乳、生クリーム、砂糖を入れて中火にかける
- ③沸騰したら火を止め、ゼラチンを入れて混ぜる。氷水を入れたボウルの中で粗熱をとる
- ④とろみがついたらカップの半分くらいまで注ぎ、冷蔵庫で2-3時間冷やす



ポイント

- ・牛乳と生クリームを同じくらいの比率にする
- ・ゼラチンは小分けになっているものは7g程度で売っているので使い切って使えます

いかがでしたか?今回は暑い夏に備えて体を冷やせるスイーツを紹介しました。何か作りたいたいもの、一人暮らしの人に伝えたいレシピなどあったらぜひ新聞部まで教えてください!

はじめてのレシピシリーズ

一人暮らしのお料理♡

また新しい季節がめぐってきました♡
新入生のみなさん、はじめまして!
ご入学おめでとうございます。
そろそろ大学生活にも馴染んでこられた頃でしょうか?さて、中には一人暮らし初めての方もいらっしゃるはず!一人暮らしって慣れない内はたいへんですよね。学校やバイト、部活で料理をさぼりがちに...。パッと簡単にできて、美味しくって、しかも栄養ばっちり料理があれば...
このレシピコーナーでは、ぱぱっと簡単に♡おしく、をテーマに、毎回レシピを紹介していきます。新生活のおともにもしてもらえたら嬉しいな♡
さあ、たのしいお料理の時間です☆

九州・山口医科学学生体育大会 長崎大学 団体戦結果

☆団体☆	男子	女子
バレーボール	3位	3位
バスケットボール	2部リーグ敗退	予選敗退
卓球	7位	3位
バドミントン	予選敗退	4位
剣道	優勝	ベスト6
弓道	3位	6位
柔道	予選敗退	
準硬式野球	準優勝	
ラグビー	1回戦敗退	
サッカー	準優勝	
硬式テニス	3位	準優勝
ソフトテニス	優勝	3位
水泳	優勝	2位
ウインドサーフィン	天候により棄権	
陸上	トラック2位、総合2位	
フットサル	ベスト8	予選敗退

編集後記

卒試の前半戦も終わり、そろそろ流石に勉強に励まねばと感じております。熊合です。その一方で、学生生活も残すところあと1年もないかと思うと、今しかできないことを謳歌したいという気持ちもあるもので...。つまるところ、悔いの残らない1年にならばなって思っています(笑)
(6年 熊谷知香)
4年の山内です。先輩方の卒業と1年生の入学に目を回すうちに、私も大学生生活の後半に入りました。忙しい1年になりそうですが、読者のみなさんに話題を届けつつ頑張りたいと思っています!
(4年 山内 翠)
2年の西山樹です。バイクリと車を持ち合わせた男が1年長崎に住むと行き尽くした感があつて明日にでも長崎を卒業できそうです(笑)。今年も沢山旅行しようと思つています、とりあえず夏はパリへ。新入生の皆さん、長崎大学医学部へようこそ!
(2年 西山 樹)
3年清原です!テスト・レポート・部活の新歓のフルコンボだんというところで、毎日日本に充実した4月でした!新しく部員も増えてます!新聞部が賑やかになっていきそうに楽しみです!(皆さんに楽しんでいただける記事を書いていきます!)
(3年 清原 翔徳)
今回新しく新聞部に入りました、2年の武田です!
(2年 武田 れいな)

一人暮らしを始めて新聞が家に届かない生活を送っていました。久々に新聞に触れることができそうで、嬉しいですね(笑)楽しく部活に励みたいですね!よろしくお願ひします!
(2年 武田 れいな)
3年の富田です。専門の授業だけとなり、TB Lや急に増えたテスト・レポートにだんご舞いしております。新聞部にも新しく2年生が入部してくれました!フレッシュな2人に負けないよう、元気に頑張りたいです!
(3年 富田 藍子)
5年生の白井です。気づけばあつという間に5年生になってしまいました。今年度はポリクリが始まり、座学の時より忙しくなりそうです。実際に病棟や外来を回つてみると座学では興味があつた科でもイメージがわきやすくなりますね。将来の道を決める上でも大切な勉強になりそうです。新聞部は卒業された先輩も多いので今年度は新入部員が多くなると嬉しいですね!もし興味ある方が入ればぜひ新聞部員に声をかけて下さい!
(5年 白井 貴浩)

6年の松島です。今年は桜が咲いている期間が長く友人と何度も足を運んでしまいました。毎年一緒に行つている仲間と来年は行けないかと思うと感慨深いです。6年なんてあつという間、この学年にならないとわからないものですね!笑(6年 松島 俊樹)
3年生後半でのリサーチセミナーを終え、再び試験に追われる日々となりました。今回は、海外や国内でリサーチセミナーに取り組んだ同級生の声が皆さまに届いたら幸いです。
(4年 金好 智子)

1月からポリクリが始まり、下級生の頃の座学の大切さを痛感している大熊です。これまで8つの科を回っており、勉強になることはかなり充実した日々を送っております!2年生から新聞部に入部した私もついに5年生。大人の女性らしく新聞部盛り上げていく所存です。5月から年号が令和に変わりますが、自分の名前の音が入つてくるため、なんだかいい風が吹きそうです(笑)楽しんでいきます!(こじつけかもしれませんが)
(6年 大熊 悠)